地域農業の

Eひと

小菊栽培の伝統を守り 産地の魅力を高めたい

手作業が多く手間暇はとてもかかりますが、お盆やお彼岸に小菊を求めるお客さんの顔を想像し、良いものを提供したいという思いで頑張っています。

とよさとちょう みつついけ
豊郷町三ツ池
やまだ てつ
山田 哲さん(62)
あけみ
明美さん(62)

主要作物の作付面積

作物名	作付面積
花卉	20a
水稲	90a

令和元年(2019年)度

小菊農家2年目も勉強の毎日

退職後、小菊農家として本格的に農業を始めました。2年目となる今年は赤・黄・白色の小菊やリアトリス、リンドウを栽培しています。小菊など、花卉の栽培は趣味程度にするのはとても楽しいと思います。しかし、仕事として本格的にやるのはとても大変だと実感しています。座学などで一通り勉強したつもりではいますが、現場では教科書通りにいきません。ベテランの農家さんと交流して、栽培の仕方を教えてもらったりと、日々勉強の毎日です。

農業の魅力と多くの苦労を実感

栽培している小菊が、一面に咲き誇る姿を見て感動したのを覚えています。直売所に出荷した商品があっという間に完売して嬉しかったり、農家さんとの交流も農業の魅力だと感じています。そういった魅力がある反面、大変なこともちろんあります。害虫や病気の予防の他に、親株の管理などの作業をいかに上手に行うかなど、課題は山積みです。手作業の部分も多いので、手間暇がとてもかかります。苦労することは多々ありますが、お盆やお彼岸に小菊を求めるお客さんの顔を想像し、良いものを提供したいという思いで栽培に取り組んでいます。

良い小菊を手ごろな値段で、気軽に買ってほしい

メインはお盆やお彼岸に向けた市場出荷ですが、JA東びわこの直売所4か所にも出荷しています。菊は値段が高いイメージがありますが、高品質なものを手ごろな値段で出荷して、もっと気軽に買ってもらえるようになればいいなと思っています。茎を切ったらすぐに水に浸けるなどして、鮮度にこだわっていますので、直売所でお買い求めいただくものは長持ちしますよ。今後は、地域の諸先輩方が築いてこられた小菊栽培の伝統を守り、産地としての魅力を高めていきたいです。そして、もっと小菊農家が増えてくれれば嬉しい限りです。

ほとんどの作業は、奥さんと協力して行っています。

Search!

今月の表紙

11月号の表紙は、昨年開催した大感謝祭です。ステージイベントや地産地消マルシェ、農産物品評会や軽トラ市など、大好評で幕を閉じました。今年も11月23日(土・祝)に開催いたします。

皆さまのご来場、お待ちしております!!(詳細はP21へ)

Contents

4 特集 美浜館名物 かぶらのはさ掛けとは?
6 今日からはじめる 家庭菜園
8 ピックアップ! 地域のEすとニュース
10 あつまれ 地域のEひと
12 スタッフルーム
14 おいしくうれしく 魔法のレシピ